

2018 May

Vol.61

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター

〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代) <http://www.hiro-nishi-nh.jp/>

「平成30年度新採用者研修」

4月2日から4月6日までの5日間で、今年度の新採用者68名を対象に研修を行いました。

CONTENTS

■ 新任医師紹介……………	2	■ 実習・見学日より……………	8
■ 初期臨床研修医紹介……………	4	■ ついににっしーくんが辞令が!! ……	9
■ 看護部長着任のご挨拶……………	4	■ 患者図書室から……………	10
■ 初期臨床研修医修了式……………	5	■ 栄養士のつばやき㊟……………	11
■ 29年度新人看護師リボン返還式を終えて ……	6	■ 地域医療連携室実績報告……………	11
■ ボランティア総会を開催しました……………	7	■ 編集後記……………	11
■ 病児・病後児保育室利用状況報告について…	8	■ 外来診療担当医表……………	12

病院理念「患者さんと共に」

■ 基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■ 「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利

公認キャラクター
「にっしーくん」

新任医師紹介

本年度4月より当院に着任となった医師から、ご挨拶申し上げます

麻酔科医長 福本正俊

- 出身地：広島県
- 出身高校：広島大学附属高等学校
- 出身大学：京都大学
- 専門医等の資格：麻酔科専門医
- 趣味：競馬、古文書
- 自己PR：



平日はやることがないので酷使してもらって大丈夫です。でも眠くなるのが早くなったと感じます。



肝臓内科 兒玉英章

- 出身地：広島県
- 出身高校：修道高等学校
- 出身大学：愛媛大学
- 専門医等の資格：総合内科専門医、
消化器病専門医/指導医、
消化器内視鏡専門医/指導医、肝臓専門医/指導医、
産業医、がん治療認定医
- 趣味：スポーツジム、温泉
- 自己PR：



4月より赴任しました兒玉と申します。ここ10年間は、一般市中病院で消化器内科のなかでも特に肝臓、慢性肝炎、食道静脈瘤等の肝疾患診療に従事していました。地域の方々に少しでもお役に立てるよう頑張っていきますので宜しく御願い致します。

神経内科 黒田 龍

- 出身地：広島県
- 出身高校：広島学院高等学校
- 出身大学：浜松医科大学
- 専門医等の資格：
日本内科学会総合内科専門医、
日本神経学会神経内科専門医
- 趣味：読書、ゴルフ、フットサル
- 自己PR：



大学卒業後約20年を経て広島県にUターン致しました。難病や希少疾患を有する患者さんをはじめ、多様な患者さんに対応ができますよう、引き続き精励する所存です。よろしくお願い申し上げます。

小児科 佐倉文祥

- 出身地：広島県
- 出身高校：広島学院高等学校
- 出身大学：広島大学
- 専門医等の資格：小児科専門医
- 趣味：サッカー
- 自己PR：



4月から赴任した佐倉と申します。これまで小児科医として舟入病院、日赤病院、県病院（NICU）に勤務し現在に至ります。筋ジス病棟・外来を担当させていただきます。新たな分野への挑戦となりますが、患者様とご家族をはじめ、皆様のお役に立てるよう努力していきます。よろしくお願い致します。



泌尿器科 西田 健介

- 出身地：広島県
- 出身高校：広島城北高等学校
- 出身大学：愛媛大学
- 専門医等の資格：
日本泌尿器科学会専門医
- 趣味：カーブ、NFL観戦
- 自己PR：

この度、泌尿器科医師として赴任いたしました西田と申します。平成23年に愛媛大学を卒業し、県立広島病院、中電病院、広島大学病院で勤務してまいりました。慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、早く新しい環境に慣れるように頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



外科 米神 裕介

- 出身地：広島県
- 出身高校：広島学院高等学校
- 出身大学：自治医科大学
- 専門医等の資格：
日本外科学会専門医
- 趣味：音楽鑑賞、演奏、ラグビー
- 自己PR：

4月から外科医師として着任いたしました米神（こめかみ）と申します。消化器外科一般、特に大腸、肝胆膵領域を得意としています。お気軽に何でもご相談ください。



外科 田丸 健太郎

- 出身地：広島県
- 出身高校：広島大学附属高等学校
- 出身大学：広島大学
- 趣味：カーブ観戦
- 自己PR：

2018年度より外科でお世話になります田丸と申します。平成26年卒で医師免許を取って5年になりますが、気持ちは1年目のようにフレッシュかつアクティブにやって行きたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科 辻 駿矢

- 出身地：広島県
- 出身高校：広島大学附属高等学校
- 出身大学：広島大学
- 趣味：サッカー、スポーツ観戦
- 自己PR：

この度、整形外科医として参りました辻駿矢と申します。4年間マツタ病院に勤務しておりました。皆様のお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



整形外科 渡邊 能

- 出身地：兵庫県
- 出身高校：三田学園高等学校
- 出身大学：広島大学
- 趣味：ゴルフ
- 自己PR：

初期2年間を広島市民病院で過ごし、3年目として西医療センターへ来ました。肉が好きです。おすすめのお店などございましたらご教示ください！



初期臨床研修医紹介

江 盛 智 明

- 出身地：広島県
- 出身高校：修道高等学校
- 出身大学：広島大学
- 趣 味：釣り
- 自己PR：



はじめまして。この度、初期研修医として広島西医療センターにお世話になることになりました、広島大学卒の江盛智明です。海と自然に囲まれた当院で研修をできることの幸せを感じつつ、少しでも早く皆様のお役に立てるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

寺 道 紘 毅

- 出身地：広島県
- 出身高校：広島学院高等学校
- 出身大学：広島大学
- 趣 味：釣り、キャンプ、バイク、空手、バレーボール、筋トレ、野球観戦、ダイエット
- 自己PR：



はじめまして。この度広島西医療センターの初期研修医として入職いたしました、寺道紘毅と申します。これから優しくて頼りになる先生方、スタッフの皆さん、同期のみんなと一緒に働けることがとても楽しみです。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、一生懸命研修に励みますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

藤 田 翔 平

- 出身地：広島県
- 出身高校：高校卒業認定
- 出身大学：帝京大学
- 趣 味：バス釣り
- 自己PR：



はじめまして。昨年度帝京大学を卒業し、この度、広島西医療センターで初期研修医として働かせて頂くことになりました藤田翔平と申します。まだまだ未熟者で皆様にご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、日々努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

堀 尾 祐 太

- 出身地：広島県
- 出身高校：広島井口高等学校
- 出身大学：山口大学
- 趣 味：映画・海外ドラマ鑑賞
- 自己PR：



初めまして。この4月より広島西医療センターに初期研修医として入職致しました堀尾祐太です。出身地である広島県で働けることを嬉しく思います。分からない事だらけで職員の方々や患者さんにご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



着任のご挨拶

看護部長 **黒 田 智 美**



4月1日付けで着任して参りました看護部長の黒田智美（くろだともみ）と申します。こちらに着任し一番に感じたことは、病院全体の雰囲気（空気感）があたたかく、職員一人ひとりが明るく元気だということです。当たり前のことかもしれませんが、笑顔で挨拶を交わし他部門と連携を取り合っている姿をみて、広島西医療センターの“チーム力”を感じました。このチーム力を更に活気づくよう、看護部として何が出来るのか考え、新しいことにチャレンジして参りたいと思います。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

初期臨床研修医修了式



医師になるためには、医学部を卒業、国家試験に合格後、最初の2年間はある程度以上の大きさの病院で国が定めた研修を受けなければなりません。

これが「医師初期臨床研修制度」で、研修を受けることができる病院が「初期臨床研修指定病院」と言われるもので、広島県内では25病院指定されており、広島西医療センターはそのうちの1つです。

毎年4月に当院で研修を希望する医師が入職、2年後の3月に研修を終了して巣立って行く際に、「2年間の研修修了お疲れ様！」という気持ちを込めて、職員みなでお祝いするのが当院の恒例行事になっています。



という訳で、今年も3月14日に「初期臨床研修医修了式」が院内大講堂で開催されましたのでご紹介したいと思います。

思います。

この会は、修了した研修医の1年後輩が「先輩お世話になりました」の気持ちで企画・運営しています。

修了式の内容は、年によって少しずつ違いはありますが、大体のあらすじは次の様になっています。

- ①院長のお祝いの言葉に続いて、修了証書の授与
- ②修了者が各自の2年間の思い出を学会発表形式でプレゼン
- ③後輩からのお礼の言葉と、後輩自腹の記念品贈呈
- ④記念撮影
- ⑤院内多職種の職員参加の送別パーティー

今回修了式を迎えた研修医は、平成28年4月に当院に入職した男性3名、女性2名の計5名でしたが、特筆すべきことは今回の女性医師は2名とも在職中に当院の先輩・同僚医師とご縁があり結婚、在職中に出産したことでしょうか。

院長自ら「家庭的な研修」をモットーにしている広島西医療センターとしては、「これ以上ない嬉しいこと」として病院全体が温かい気分にならせてもらいました。

統括診療部長 研修管理室長 新 甲 靖



とはいえ、「働き方改革」や「一億総活躍社会」などの言葉を最近よく目にしますが、「女性医師の仕事

と家庭の両立」にはまだまだ障害が多いのが現実です。

初期臨床研修は「2年間のうち90日までは休んでも、残りの期間で頑張れば2年間で研修修了することは可能」という特別ルールがありますが、今どき「陣痛が来るまで研修する」などありえませんが、皆さんご存知の様に産後8週間は法的に労働が禁じられています。それを考えると90日は本当にギリギリだと思います。

ですが今回の2人の女性医師は、ご家族の多大な援助（+配偶者医師のちょっとだけの協力？）を貰えたこと、何よりも本人たちのびっくりするくらいの頑張りで、2人とも無事2年間での研修修了に漕ぎ着けました！（2人のうち1名は3月の出産でしたので、今回の修了式に出席できませんでした。残念!!）

昔から言われる「母は強い!」をあらためて見せてもらいました。

今回当院を巣立っていった5名（1名は当院で後期研修を続けるため、そのまま残っています）全員、身体にだけは気を付けて「大きくなって」また広島西医療センターに帰ってきて下さい。

是非もう一度一緒に仕事しましょう!!



29年度新人看護師リボン返還式を終えて

前教育担当師長 高下 尚子 (現中国四国グループ医療安全係長)



H30年3月14日に新人看護師39名がリボン返還式を迎え、修了証を受け取ることができました。明るい笑顔で式に参加しており、ホッとしました。笑顔で堂々とお礼の言葉を語る姿を見て、成長を感じました。

広島西医療センターでは、新人看護師は入職時に左肩に黄色いリボンをつけます。リボンは、どの職員も新人看護師であることがわかり、患者さんやご家族の方からも『新人看護師さん頑張って!』というエールを頂けるお守りのような存在です。1年間つけていた黄色いリボンは色あせていました。これは、今までの汗と涙と努力の結晶です。このリボンを返還するという事は、1年間の看護の学びを得て、自律する一歩となります。これから迎える後輩達を支える役割を担う責任を感じる式になります。また、新しくリボンをつける後輩を迎えます。先輩達もこのリボンに見守られ、チームで支えられて過ごしたことを次に来る後輩達に伝承してくれることを期待しています。



リボン返還式のお礼の言葉

3若葉病棟 寺本 灯 梨



この一年間、病院長先生をはじめ、病棟の先輩方・他部門の皆様方に丁寧な指導を頂き、支えられながら、同期と今日を迎えられたことを嬉しく思います。この一年間で先輩方からたくさんのことを学びました。私は重症心身害児(者)病棟に配属となり、日常生活援助の多くを全介助が必要な患者さんのケアを実施していく中で、看護師の提供する日常生活

援助の質がそのまま患者の日常生活の質につながってくることを学びました。また、看護師はより観察をして患者の小さな変化に気づくことやコミュニケーションをしっかりとって普段の患者の状態を知っておくこと、また患者の訴えを傾聴する姿勢を持ち患者にとっての日常生活の質を維持・向上できるように接することが大切であると学びました。

これからは、先輩方から教わってきたことを私たちが後輩に教える立場になります。頼りがいのある先輩になれるようにこれからも日々学ぶ姿勢を忘れずに頑張っていきたいと思います。今後ともみなさんご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



ボランティア総会を開催しました

庶務班長 上田 晶彦



平成30年3月7日、ボランティア総会を開催しました。

一年間の活動に感謝の意を表し、ボランティア活動に対するご意見を伺いすると同時にボランティアの方々相互の

親睦を深めることを目的として年に一度開催されるこの会ですが、当日は3名のボランティアの方にご出席いただきました。また、ボランティア活動を年間で10回以上行われた方には、奥谷院長より感謝状と記念品を贈らせていただきました。

その後、意見交換の時間が設けられ、園芸ボランティアの方々からは「手入れした花壇を見て『きれいだね』『ありがとう』と声をかけてもらう機会が多くうれしい」、将棋の対戦相手としてボランティアをされて

いる方からは「対戦するうちに患者さんがぐんぐん腕を上げ、戦いがいのある対戦相手であり続けるために自分も将棋の研究をするようになった」など、心温まるエピソードを伺い、和やかな雰囲気の下閉会となりました。

当院では現在、19名の方をボランティアとして登録しておりますが、

- ・総合案内…待合ロビーでの声掛け
- ・園芸…正面玄関横の花壇のお手入れ
- ・日常会話、朗読、将棋指し…主に慢性病棟入院患者さんとの交流
- ・外出の付添…患者さんのお買い物や野球観戦の付添
- ・行事支援…院内演奏会の開催など

といった活動を通じて、様々な面から患者さんを支えていただいております。

こうしたボランティアの方々の活動が、当院の運営に多大なる貢献を果たしていることは言うまでもありません。平成29年度の活動件数は278件と、前年度よりも多くの方にご参加いただきました。本当にありがとうございます。

広島西医療センターは、本年度もボランティア活動をしていただける方を募集しております。この記事で紹介した通年のボランティアだけではなく、毎年10月に開催している広島西医療センター祭りは、学生さんや地域の皆さん等、毎年多くの方々のお力添えをいただいています。その他に、待合ロビーでのコンサート等も随時企画していきたいと考えておりますので、ボランティアをしてみたいと思われる方がいらっしゃいましたら、管理課（0827-57-7151：山根、上田）までお気軽にご連絡ください。心からお待ちしております。



奥谷院長より記念品を手渡しました



正面玄関の花壇



病児・病後児保育室利用状況報告について

管理課長 山根啓嗣



病児・病後児保育室の利用状況について、平成29年度実績が確定しましたのでご報告させていただきます。

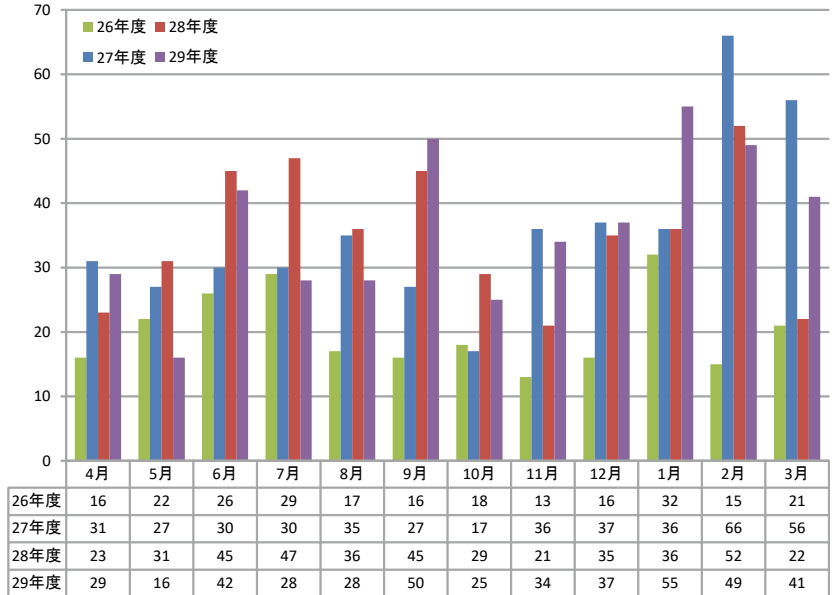
平成26年4月から大竹市より病児・病後児保育事業を委託され、4年を経過した平成29

年度も利用者が多く、昨年度（422人）を上回る434人の利用がありました。（別図1）

この間、事故もなく大切なお子様をお預かりできたことは、偏に保育士さんをはじめとする関係職員の方々による常日頃からの尽力によるものだと感謝しております。誌面を借りてお礼申し上げます。

今後も、利用者の方の子育てと就労のサポートの一助となるように努めて参ります。

平成26年度からの月別利用者数



実習・見学だより

様々な教育機関から実習・見学に訪れた学生さんに、当院の感想を聞きました。

吉川 彩香さん（呉医療センター附属呉看護学校）

本日は東3病棟と若葉・あゆみ病棟を見学させていただきました。

どの病棟も明るい環境で、患者さん一人ひとりが自分らしく生活されていると感じました。また、看護師の方も明るく優しい印象で、患者さん一人ひとりに寄り添って、看護やコミュニケーションをとっていると感じました。全体的に雰囲気がとても良かったです。本日、インターンシップに参加して良かったです。

伊藤 仁美さん（呉医療センター附属呉看護学校）

第一印象は、看護師の方々の笑顔です。どの病棟の看護師の方も常に笑顔で働かれており、それに伴って病院全体の雰囲気がとても明るかったです。

広島西医療センターは主に慢性的な疾患の方が多く入院されており、在院日数が長い分、その人に合った個性のある看護をされており、これが本当の看護であると感じました。

寺岡 里紗さん（呉医療センター附属呉看護学校）

呉医療センターでしか実習をしたことがなかったので、呉にはない広島西医療センター特有の病棟を2病棟見学させていただき、良い経験となりました。一般病棟も雰囲気が優しく担当してくださった看護師の方にも丁寧な説明をいただき嬉しかったです。就職活動のアドバイスや病院の特徴がたくさん分かり良かったです。個性を大事におられ、患者さんに関わる看護師の方も、カルテを記録しながらではなく寄り添って患者さんの話を聞いておられたことが印象に残りました。

日高 文菜さん（呉医療センター附属呉看護学校）

若葉病棟とあゆみ病棟という慢性的の患者さんがいる病棟を見学させて頂いて、一人ひとりの患者さんに合わせた車椅子やベッド、食事方法など、看護というものは何か改めて考えさせていただきました。今までの実習では、一人の患者に対して12日間受け持たせてもらえるのでその人に合った援助ができていますが、実際仕事に就くと忙しくてなかなかできないと思われるなか、この西医療センターだとそれが可能なのではないかと思います。一般病棟でも混合病棟があり、いろんな疾患・科目の勉強ができると感じました。病棟の構造も開放感があり明るく、看護師さんも良かったです。

4・5月の実習・見学受入実績

広島大学／岩国YMCA国際医療福祉専門学校／呉医療センター附属呉看護学校／広島女学院大学
岩国医療センター附属岩国看護学校／安田女子大学／岡山医療センター附属岡山看護学校
川崎医療福祉大学／県立広島大学／広島文化学園大学 等

ついにっしーくんに辞令が!!

新年度になって、あたらしい仲間が広島西医療センターにやってきたよ。
院長先生から1人1人に、辞令が手渡されました。



そして最後に名前をよばれたのは…ぼく、にっしーくんです!



院長先生

「 広報担当専門職に昇任させる！
広島西医療センターの広報として、
病院の PR に励むように。 」

はいっ、がんばります!

人事異動通知書	
(氏名) にっしーくん	(現職名) 公認キャラクター
(異動内容) 広島西医療センター 広報担当専門職 に昇任させる	
平成 30 年 4 月 1 日	
任命権者 独立行政法人国立病院機構広島西医療センター院長	
奥谷 卓也	

…ということで、これからは病院の広報として、
広島西医療センターのいいところを
いっぱい伝えられるようにがんばります!
みんなもこれからいっしょにがんばろうね。





患者図書室から



～おかげさまで7周年～

患者図書室「健康情報の泉」は患者さんご自身やご家族が、病気や治療法について適切な知識を持ち、自信を持って医療に参加出来るようにすること。またご自宅にいらっしゃるかのようにくつろいでいただくこと。

この2つを目的として平成23年4月にオープンし、おかげさまで7周年を迎えました。

よく「ラッキーセブン」と言われるように特におめでたい気分がするこの「七」という数字。七福神、七転び八起き、など。なんとなく良いことを連想しますね♪ちなみに結婚7周年は「銅婚式」と呼ばれ、家庭をとりまくものが、どしりと安定したことを喜び祝う意味があるそうです。

オープン当初は“病院に図書室？”と不思議がられ、“入ってもいいですか？”と患者さんが遠慮がちに入室されたものですが、7周年を迎え、病院内でその存在が知られ、安定した運営を行えるようになりました。

堅いイメージを持たれがちな病院内の図書室ですが、小説やマンガを借りたり、折り紙やクイズを楽しんだりされる方も多く、皆さん、上手に図書室をご利用されています。

図書室はどなたでもご利用になれます。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



開館時間	月～金曜日（10時～15時）※祝日、年末年始をのぞく
場 所	1階正面玄関を直進 70m先
所蔵図書	医学図書 約1,000冊 / 小説ほか一般図書 約5,000冊
その他のサービス	病棟への移動図書サービス（東西病棟 毎週金曜日） 各待合室・東西病棟へ「一般図書」を置いています（2週間に1度、本を入れ替えます）

図書室内のようす



【病気や健康に関する本コーナー】



【文庫本コーナー】



【マンガコーナー】



【パソコンコーナー】

医療情報を検索できます



【学習コーナー】

左はDVDを鑑賞できます



【病棟デイルームの出張図書】



【暖かな暖炉】

冬は暖炉に灯がともります



【患者さんの手作り作品】

折り紙・クイズ・ぬり絵など気晴らしアイテムをたくさんご用意し、くつろいでいただいています





春の食材で、ストレス解消!!

この春、入学、入社、転職などで、新しい生活がスタートした人も多いと思います。この1か月の間、慣れない環境で、ストレスを感じている人もいらっしゃるのではないかと思います。そこで、今回は、ストレスに効く、春の食材のご紹介をいたします。

まずは、春キャベツ。キャベツから発見されたビタミンU（別名：キャベジン）が、ストレスなどにより、荒れた胃を修復してくれる効果があります。また、ビタミンCが豊富で、風邪の予防や免疫力を高める効果がありますので、ストレスに負けない体づくりに役立ちます。ちなみに、キャベツは年中出回っていますが、春と夏と冬に旬を迎える3種類があります。産地がそれぞれ違い、品種も異なります。春キャベツは、千葉県や神奈川県三浦半島などが産地として有名です。そして、春キャベツは、ビタミンの含有量が、他の2種のキャベツより多くなっています。

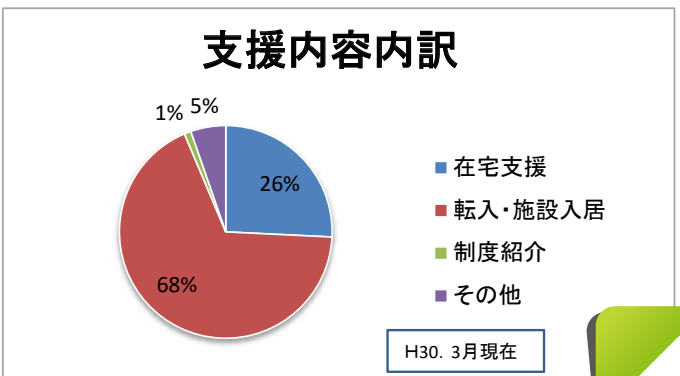
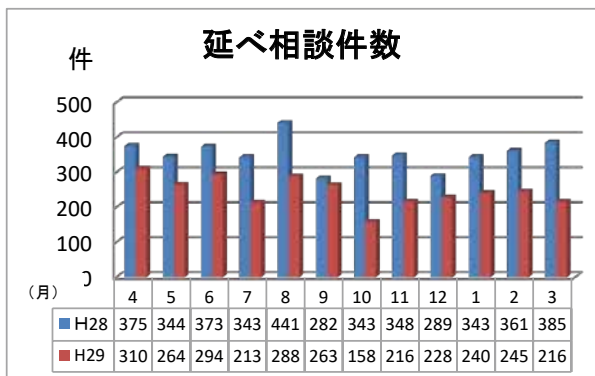
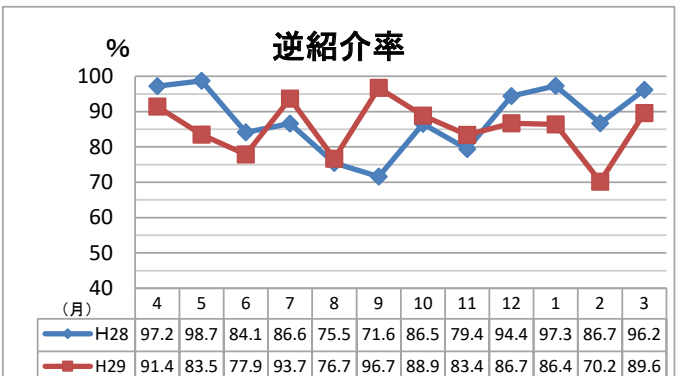
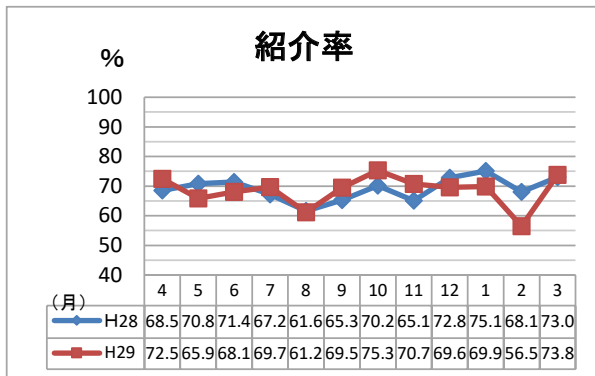
次に、アスパラガス。主成分は、アミノ酸の一種であるアスパラギン酸で、新陳代謝を促すとともに、免疫力アップや疲労回復の効果があります。ストレスがかかると、新陳代謝が低下し、疲れやすくなりますが、このアスパラギン酸が、体を疲れにくくしてくれます。

最後に、筍。食物繊維が豊富で、体に溜まった老廃物を体の外に排出してくれる効果がありますので、便秘の解消にも有効です。ストレスにより、老廃物が溜まった体を、食物繊維が豊富な筍を食べて、リセットしましょう。

春が旬である食材は、まだまだたくさんあります。おいしく食べて、みなさんの健康にお役立てください。



地域医療連携室実績報告



■編集後記

新たに編集委員の一員となりました経営企画室長の石橋です。

早いもので今年も5月となりましたが、まだまだ昼間は過ごしやすくても朝晩の気温差で身体が付いて行きません。原因は年齢のせいと分かっているのですが…。

これからは、本誌も私も美味しいワインのように年を重ねるごとに魅力あるものにしたいと考えていますのでご期待ください。
(経営企画室長 石橋 融)

●●● 外来診療担当医表 ●●●

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
<http://www.hiro-nishi-nh.jp/>

広島西医療センター

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

平成30年5月1日現在

		月	火	水	木	金	備考	
総合診療科	初診	生田 卓也	伊藤やよいこ	広大(総診)	生田 卓也	伊藤やよいこ	下記の専門領域以外の新患	
	再診	角野 萌(血液)①	生田 卓也	生田 卓也	伊藤やよいこ	生田 卓也		
内科	専門領域新患(紹介患者)	藤堂祐子/山中秀彦 消化器	倉恒 正利 腎臓	八尾 尚幸 血液	広 大 呼吸器	藤原 仁 循環器	月曜日 隔週 血液は下欄で毎日 新患可(①~③あり)	
	1診	呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)①	八尾尚幸(血液)①	広大(呼吸器)	再診外来予約制	
	2診	消化器/肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	山中秀彦(消化管)	兒玉 英章(肝臓)		藤堂祐子(消化管)
	3診	消化器/内分泌代謝/血液	鼻岡理恵(消化器)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)		角野 萌(血液)③
	4診	循環器/血液	楠 正美(循環器)	角野 萌(血液)②	下村壮司(血液)②	下村壮司(血液)②		宗正昌三(血液)②
	5診	循環器	藤原 仁(循環器)	中村秀志(循環器)	藤原 仁(循環器)	中村秀志(循環器)		藤原 仁(循環器)
	6診	腎臓/循環器/血液	倉恒正利(腎臓)	倉恒正利(腎臓)	楠 正美(循環器)	高蓋寿朗(血液)①		広大(血液)①
神経内科	1診	村尾 智美	黒田 龍	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕		予約制
	2診	牧野 恭子 (パーキンソン病)	渡邊千種(物忘れ)(第2・4・5) 村尾智美(第1・3)	黒田 龍	檜垣雅裕(頭痛)	黒田 龍	予約制 PM	
C A P D 外来		倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	予約制 PM	
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM	
禁煙外来		/	担当医	/	/	/	PM2~4 予約制	
小児科	一般外来	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎		
	予防接種※		慢性外来	乳児健診(予約制)	慢性外来	/	PM※は月曜日が休日の場合火曜日	
小児科	小児筋ジストロフィー	古川年宏・佐倉文祥	古川年宏・佐倉文祥	古川年宏・佐倉文祥	古川年宏・佐倉文祥	古川年宏・佐倉文祥	予約制	
	重症心身障害	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦		
	発達外来	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範		
	小児心身症	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範		
補装具		/	/	/	/	木村(第2・4)	予約制	
外科	初診	石崎 康代	今岡 泰博	嶋谷 邦彦	米神 裕介	嶋谷/今岡/石崎/米神	金曜日交代制	
	再診	嶋谷 邦彦	米神 裕介	石崎 康代	今岡 泰博			
整形外科	初診	岩崎 洋一	渡邊 能	永田 義彦	/	辻 駿矢	木曜日手術日	
	再診	辻 駿矢/(永田義彦)	永田 義彦	岩崎 洋一	/	永田 義彦		
	再診	渡邊 能	辻 駿矢/(岩崎洋一)	渡邊 能/(辻 駿矢)	/	渡邊 能/(岩崎洋一)		
泌尿器科	1診	浅野 耕助	浅野 耕助	浅野 耕助	藤井 慎介	浅野 耕助		
	2診	西田 健介	長坂 啓司	西田 健介	長坂 啓司	西田 健介		
産婦人科		新甲 靖	新甲 靖	/	新甲 靖	/	予約制	
皮膚科		稲束有希子	稲束有希子	/	稲束有希子	稲束有希子	水曜日手術日	
眼科		広大医師AM	/	/	/	/	第2・第4月曜日	

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約(CT・MRI含む)は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

糖尿病教室を開催しております

参加ご希望の方は、あらかじめ予約をお願いいたします(当日予約可能です)。

問い合わせ先: 栄養管理室(0827)57-8192

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151

■時間外救急専用番号 TEL (0827)57-0077

■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室

ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140)

FAX (0827)57-7701